

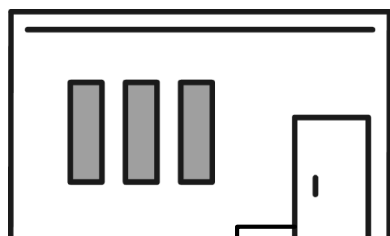
最下階数 について

本資料は、保険の対象が所在する最下階を
判定する際の参考にご使用ください。



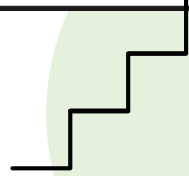
例 ①

地下階のない独立住宅(一戸建住宅)を
保険の対象とする場合
⇒「1(階)」と入力



例 ②

地下階のある独立住宅(一戸建住宅)を保
険の対象とする場合
⇒「D(アルファベット)」と入力

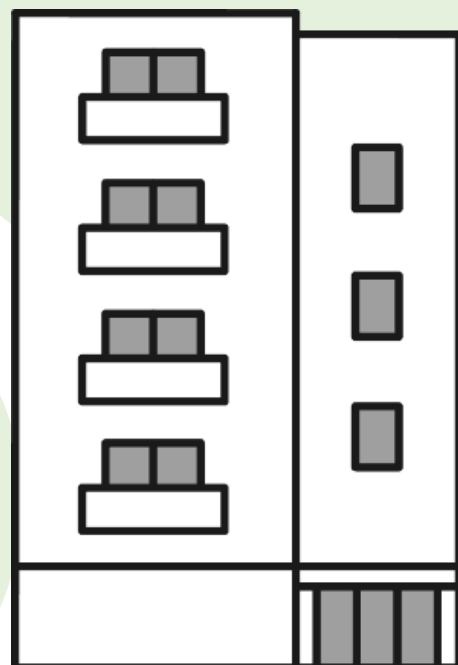


例 ④

共同住宅で、複数階を保険の対象
とする場合(3階および4階にまたがる
メゾネットタイプの戸室の場合)
⇒「3(階)」と入力

例 ③

共同住宅で、
5階の戸室を保険の対象とする場合
⇒「5(階)」と入力



例 ⑤

共同住宅で、1棟全体を
保険の対象とする場合
⇒「1(階)」と入力



屋根の形状 について

本資料は、屋根形状を判定する際の参考にご使用ください。

以下のいずれにも該当しない場合は、「その他・不明」をご選択ください。

ろく やね A:陸屋根

一般的な屋根のように傾き(勾配)が付いた屋根面ではなく、平面状(平らで勾配がない)の屋根をいいます。



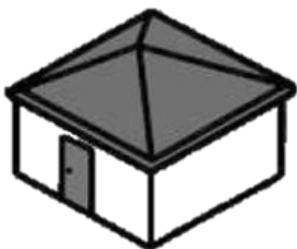
よせむね やね ほうぎょう やね B:寄棟屋根・方形屋根

<寄棟屋根>

勾配のある4つの屋根面で構成される屋根をいいます。角が6つで三角形と台形で構成されます。

<方形屋根>

真上から見ると正方形に見える形をしている屋根です。角が5つですべて三角形で構成されます。



C:段違い屋根 (差し掛け屋根、招き屋根等)

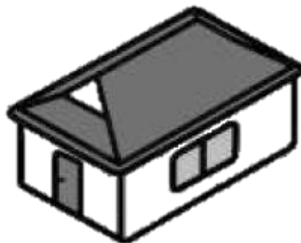
[D:切妻屋根]の一方の屋根面を長く、もう一方が短い2面の屋根面が段違いになった形状の屋根をいいます。



きりづま やね いりもや やね D:切妻屋根・入母屋屋根

・「切妻屋根」 屋根の最頂部から地面に向かって羽を広げたように二方向に傾斜した屋根をいいます。

・「入母屋屋根」 [B:寄棟屋根]の上に切妻屋根がのせられたような形の屋根をいいます。



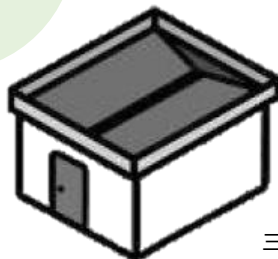
E:片流れ屋根

屋根面が1面で一方にのみ勾配がある形状の屋根をいいます。



むらくせつ やね F:無落雪屋根(M型屋根等)

スノーダクト方式と呼ばれ中央部に設置されたダクトに向かって緩やかな勾配がある屋根をいいます(このイラスト以外に屋根中心が谷になったMの形をしている屋根も該当します)。



屋根材について

本資料は、屋根材を判定する際の参考にご使用ください。
以下のいずれにも該当しない場合は、「その他・不明」をご選択ください。

A：瓦（全緊結）

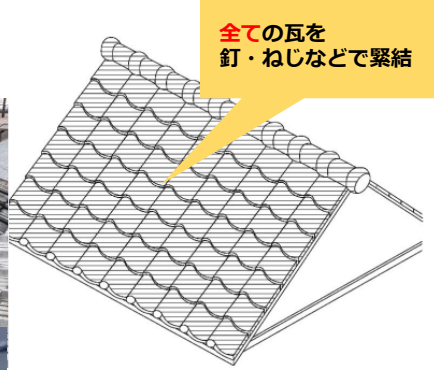
瓦屋根のうち（粘土、セメント等の材質は問いません。）、「瓦の緊結方法に関する基準（昭和46年建設省告示第109号）」を充足する方法によりすべて緊結された屋根をいいます。なお、2022年1月1日以降に新築・増築（増築部分のみ）する建物の場合は、上記の基準を充足することが義務化されています。



A：全緊結

軒、けらば、むね、平部：全ての瓦

全ての瓦を釘・ねじなどで緊結



B：瓦（全緊結以外）

瓦屋根のうち（粘土、セメント等の材質は問いません。）、一部の瓦のみ緊結している屋根をいいます。

C：スレート

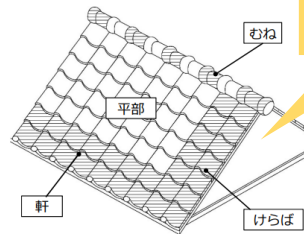
粘板岩を加工した「天然スレート」またはセメントを加工した「化粧スレート」の屋根材をいいます。「コロニアル」「カラーベスト」と呼ぶ場合もあります。



B：全緊結以外

軒、けらば：端部から2枚までの瓦
むね：1枚おきの瓦

一部の瓦を釘・ねじなどで緊結



D：金属板

金属を加工した屋根材をいいます。



E：アスファルトシングル

アスファルトを、ガラス繊維（グラスファイバー）の基材に含浸・コーティングし、砂粒で表面を着色して作る屋根材をいいます。「シングル」と呼ぶ場合もあります。



F：屋根一体型太陽光パネル

太陽光パネルが一体となった屋根をいいます。後付けで太陽光パネルを設置したものは除きます。

